

精密工学会国際賞 第3回 (2001年度)

受賞者 経歴・業績概要

受賞者： 佐田 登志夫 氏

【 略歴 】

1948年	東京大学第二工学部精密工学科 卒業 理化学研究所 入所
1961年	マサチューセッツ工科大学 研究員
1962年	カーネギ工科大学 上級研究員
1963年	理化学研究所 研究員
1965年	東京大学工学部 教授
1986年	電気通信大学 教授 理化学研究所 理事 東京大学 名誉教授
1990年	理化学研究所 副理事長
1993年	豊田工業大学 客員教授
1994年	豊田工業大学 副学長・教授 現在に至る

【 業績概要 】

佐田教授は、皆様ご承知のように機械加工学、表面工学、生産システム工学の種々の分野において独創的な基礎研究、応用研究を行い、250編余の学術論文を発表し、その研究成果は国内のみならず、国際的にも高く評価されております。そしてこの研究成果を実際の機械生産工場に応用して画期的技術開発に成功し、これによって世界の最先端にあるといわれている日本の機械生産技術の発展に貢献するところ大であります。

また下記に示すように、内外の学会活動にも尽力され、10を超える法人の役員も兼務されており、国際的な学術交流の発展のための功績も高く評価されるものであります。

学会活動	1986年度～1987年度：精密工学会 会長（他，理事6期，副会長2期）
	1986年度～1989年度：型技術協会 会長
	1972年9月～現在：EXAPT協会 理事
	1984年9月～1985年8月：CIRP 会長（他，理事4年，副会長1年）
主要論文	(1) 機械摩耗に関するもの 16編
	(2) 切削加工に関するもの 63編
	(3) 研削加工に関するもの 32編
	(4) 工作機械に関するもの 57編
	(5) フレキシブル生産システムに関するもの 35編
	(6) 統合化設計生産システムに関するもの 52編
著書	(1) ロボット生産工学 日本学術振興会
	(2) CIMの設計と構築 オーム社
	(3) 生産システム工学 コロナ社
	(4) 生産システム コロナ社
	(5) 高効率研削加工 大河出版
	(6) 統合化 CAD/CAM システム オーム社
受賞	1984年 SOCIETY OF MANUFACTURING ENGINEERS ゴールドメダル
	1988年 井上春成賞
	1990年 紫綬褒章
	1991年 シュレジンガー賞
	1996年 日本学士院賞
	他，学協会の論文賞等多数を受賞